

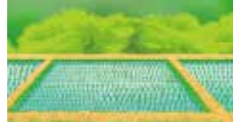
産業関連

守る
産業・経済

地域資源を最大限に活用し、持続可能な産業へ

生産者を支援

予算額 ≧1億1,407万円



中山間地域等直接支払制度において、将来に向けて農業生産活動が継続的に行われるための体制づくりを推進するため、多くの集落が参画できるよう傾斜地などの要件を緩和します。

魅力的な商品開発

予算額 ≧589万円

総務省が認定する地域力創造アドバイザーをお招きし、一般社団法人KICSとともに市内の地域資源を最大限に活用した魅力的な商品の開発などを行います。

福祉健康関連

守る
福祉・健康

誰もが生涯を通じて安心して暮らせる社会へ

支援・相談体制を強化

予算額 ≧1億4,520万円

高齢、障がい、子ども、生活困窮など、各制度で分断されていた支援を一体的に提供する仕組みを整えます。

また、多機関協働のもと、訪問による相談支援やつながりづくりを目的とした参加支援を通じ、課題を抱える方やその家族を孤立させることなく、地域全体で支える切れ目のない包括的な支援体制を構築し、すこやかな施設内に分散している社会福祉協議会を含むすべての受付窓口を集約し、相談体制の強化を図ります。



RSウイルス感染症対策

予算額 ≧285万円

生まれてくる子のRSウイルス感染症の感染や重症化を防ぐため、妊婦の方を対象にRSウイルスワクチンの定期予防接種を実施します。

相撲文化の振興

予算額 ≧163万円

大関として活躍している安青錦関が所属する安治川部屋の合宿を市内に誘致し、市民との交流イベントを通じて、あらゆる世代をターゲットにした相撲文化の振興を図ります。



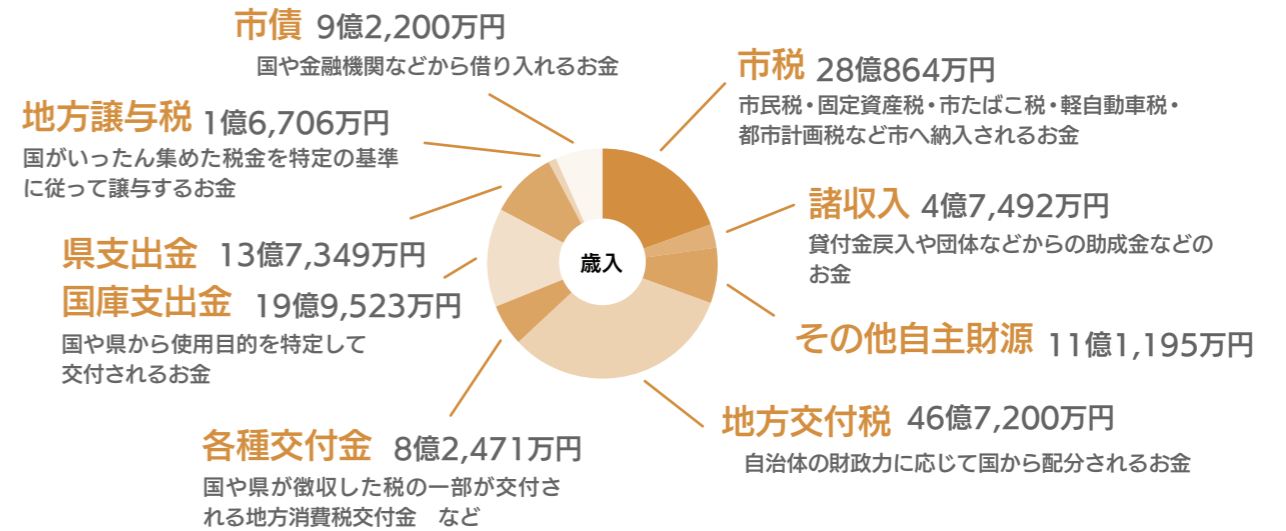
一般会計

総額 **143億5,000万円**
(前年度比-10.9%)

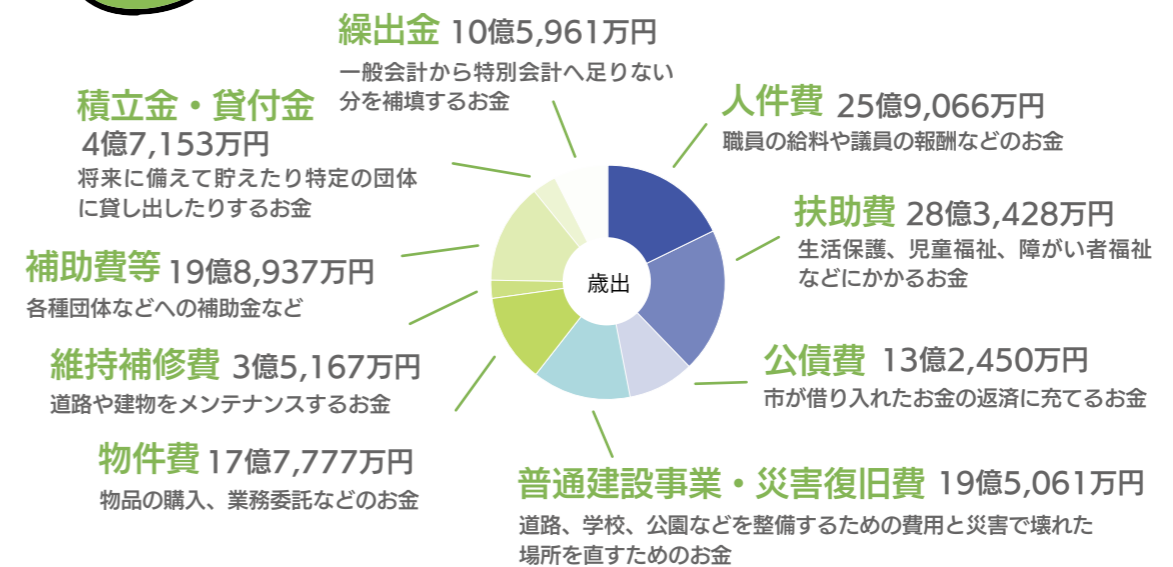
当初予算の
詳細はこちら▶



市の歳入は約3割が市税(主に市民税や固定資産税)などの自主財源で、約7割が国や県からの交付金・支出金や市債(借金)などの依存財源です。



市の歳出は約5割が人件費や市民生活を支える福祉事業などに係る費用の義務的経費で、約1割が道路や公共施設の建設などにかかる費用の投資的経費になっています。



特別会計

55億6,800万円 (前年度比1.9%減)

国民健康保険や介護保険など、特定の事業を行う会計(5会計)

企業会計

33億4,661万円 (前年度比10.2%増)

市民の皆さんに飲用可能な水を供給し、適切に下水処理を行う会計